

大阪市議員

森山 よしひさ 後援会ニュース

発行 森山禎久後援会事務局

〒556-0015 大阪市浪速区敷津西2-1-12 YKビルディング1階A号

TEL 06-6630-8800 Fax 06-6630-9260

秋の気配が感じるようになってきました。大阪市議員の森山よしひさでございます。まだまだ、暑い日が続きますが、熱中症や台風にはくれぐれも気を付けていただくようお願いします。

先日6月24日に浪速地区の子育てサロンがオープンするという事でお伺いしてきました。数年前から日東地区では浪速区で唯一の子育てサロンがありました。区内で二つ目の子育てサロンです。当日はたくさんの利用者と関係者で大盛況でした。しかしながら、市内でこどもの数が少ないといわれている浪速区でも子育てニーズの高さがうかがえます。また、子育てにかかわる課題で多くの相談を受けています。こどもたちの成長を地域の皆さんと共に支えて、がんばってまいります。

西区の2児放置死の事件からちょうど一年が経ちます。車内放置やネグレクトも後を絶ちません。地域のコミュニティの希薄化も虐待の原因の一つではないでしょうか？「子どもは宝」と昔から言われますが、「宝」を育てるのも人です。そして、育った人に支えられるのが高齢者です。未来に夢を持てる社会をつくり、高齢者や、若年者がささえあえる浪速区をつくっていきましょう。元気な若い人があふれているまちが何よりも大切だと再認識される日々です。

第1回浪速区区政会議が開催されました

7月29日（金）浪速区役所で第1回浪速区区政会議が行われました。

今まで大阪市でも、区政会議の意義、運営の在り方をたくさん論議してきました。7月20日に行われた市政改革委員会の中で大阪維新の会の議員からは区政会議に対して批判し、区長の諮問機関の区政会議には維新の会の市議員全員が出席しないと意思表示がされました。大変残念なことだと思います。

浪速区では委員に各地域振興町会の会長、区の主要団体の代表20名、公募で4名、区長推薦で学識経験者など6名の計30名が選ばれ、会議が行われました。議題については

- (1) 浪速区の運営方針について
- (2) 浪速区の防災の取り組みについて

(3) その他
についての議論が行われました。

特に震災に対しての議論がさかに行われ、避難場所の問題、高齢者や介護を受けている人の避難の方法などが話し合われました。第1回目ということで論議の幅が広がりましたが、大変有意義な会議でした。2回目以降はテーマごとのもっと深い内容になると思います。もし、区政に関して聞きたい事があれば、ぜひとも地域から上げてほしいです。

最後に私の方から区政会議に対しての意見を少しのべさせていただきました。「本日の会議はまだまだ始まったばかりですが、大変有意義な会議でした。皆様の思いを市会に必ず届けます。」と決意表明をさせていただきました。





「避難所体験フォーラム」 in 木津中学



8月9日木津中学校にて避難所体験フォーラムに参加してきました。猛暑の中、地域の方々を含め木津中学校の生徒や関係諸機関の方々とともに大阪市の職員の被災地での活動報告を聞き、防災活動体験を見学してきました。今回の東日本大震災では現地の学生の活躍が大変目立ちました。特に今の中学生以下の人々は阪神大震災の後に生まれた世代です。連日の被災地での救援活動の報道をみている木津中の生徒たちもそうですが、今回の防災訓練での熱心な行動と話しを聞く姿にはたくましさを感じました。



なぜ地域防災(コミュニティー)が注目されているのか?

災害の被害を最も少なくするのは、自助→共助→公助です。自助とは地域防災です。

- ・大規模災害時には公的な救援が間に合わない可能性
- ・高齢者が増加する一方で若年層が減少
- ・地域のつながりが希薄化

これらの課題を解決し、防災力を高めるためには地域コミュニティの強化が必要不可欠です。大阪維新の会が提唱する都構想により、区を再編すればコミュニティの崩壊につながりかねない事態になります。生活全般を考え、確かな変化を求めていきましょう。



震災に強い街を

8月5日に大阪市災害対策実行委員会が行われました。3月11日の東日本大震災をうけて大阪市の防災の方針を論議する委員会です。

森山議員は「OSAKAみらい」を代表して、30分質疑しました。30年以内に70%の確立で起こるといわれる「地震」の際の建物の耐震性における市の方針について、来年3月で終了する建物の耐震化補助の継続を確認しました。

また、現在問題になっている節電に対しても行いました。現在、市のごみ焼却場などで3万世帯分ほどの電気を生んでいます。早急に地熱・ソーラー・その他の発電システムを計画することなど今後の電力計画についても問いました。

LED化で節電を

電燈などのLED化に向けての取り組みでは、建設局からは10年で60億円の予算化の答弁を得ました。道路の街燈も今の照明器具をLED球に変えると寿命は3~10倍、電気量も30%~60%の節電になると言われています。具体的には道路の10年で7万4千個、公園の1万5千個の切り替えの答弁がありました。

次に、市営住宅の敷地内の照明についても早急にLED化するように求めました。今回は具体的な数字は引き出せませんでした。実用化が進んでいる器具については採用を検討していくとの前向きな答弁を頂きました。LED化の課題は、おそらく今後、各委員会でも取り上げていかれると思います。



税金のご相談は中企連浪速へ



〒556-0015 大阪市浪速区敷津西2-1-12 YKビルディング1階A号

TEL 06-6630-7200

FAX 06-6630-9260